

胃がん検診注意事項

※検査を受けられない方

下記の1～11のいずれかに該当する方は受検できません。

- 1 現在**妊娠中**、その可能性がある。
- 2 **胃・十二指腸の切除手術**をした。
- 3 **腸閉塞や腸ねん転・腸管憩室炎・クローン病・潰瘍性大腸炎**の既往。
- 4 **バリウムによるアレルギー反応**があった。
- 5 バリウムの誤嚥があった。
- 6 腎不全で**透析中**、心不全の**治療中**。
- 7 **85才以上で、ここ2日排便なし**。
- 8 撮影装置の荷重制限により**体重130kg**以上の方。
- 9 ペースメーカー・植え込み型除細動器を装着されている方。
- 10 自力で立位を保持することや撮影台の手すりをつかむことが困難な方。
- 11 胃疾患で6ヶ月以内に（内視鏡・バリウム）検査を受けた、受ける予定がある。

下記の1～3のいずれかに該当する方は受検できない場合があります。

- 1 腹部、心臓、頭部、肺、整形外科などの手術をして1年以内の方（腹腔鏡手術を含む）、または現在治療中の方。（主治医の許可があれば受検可能）
- 2 持続型自己血糖測定器（リブレ等）を装着されている方は、取り外しの時期調整、またはご自身で検査前に取り外し、検査後に装着をお願いします。
（装着したままの受検はできません）
- 3 医師から**大腸憩室**と言われたことがある方。

受検上の注意

前日

- 1 夕食は、午後9時までに済ませてください。アルコール類は摂取しないで下さい。
- 2 水・白湯（さゆ）は、就寝まで摂取可能です。就寝前に薬を服用している方は、普段通り内服して下さい。
- 3 入れ歯安定剤は、夕食後から検診終了までは使用しないで下さい。

当日

- 1 **検診終了まで絶飲食**です。（水以外の飲み物、タバコ、アメ、ガムも不可）
- 2 **水、白湯（さゆ）のみコップ1杯（200ml）程度は、服薬、脱水、熱中症予防のため、検査を受ける（検診会場に着く）2時間前まで摂取可能です。**
- 3 服薬について
 - 糖尿病薬（血糖降下剤・インスリン）
絶対に服用しないで下さい。（低血糖発作の危険があります）
 - その他の常用薬（血圧・不整脈・心臓病など）
検査を受ける2時間前までに服用して下さい。
- 4 服装は、無地の長袖または半そでTシャツ、ウエストがゴムのズボンに着たまま検査可能です。なるべく上下ともボタン・ホック・ファスナーなどのプラスチックや金具が無い服装でお越しください。
- 5 検診当日から前々日までに排便が**無い場合**、バリウムが検診後にうまく出せず、腸にバリウムが

詰まったりする危険があるため、日を改めて受診することをお勧めします。